

豊中の未来を描こう！！

発行 2020 年 6 月

VOL. 164

マスク着用は
避けられませんが、
熱中症にも
ご注意ください！！

豊中市議会議員
無所属

かんばんこういちろう

神原 宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

6月定例会・個人質問予定

①市民生活の実態調査と市の発信力の改善について

緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大は、様々な形で市民生活に影響を及ぼし、今後、ますます規模の拡大や深刻さが増すことが懸念されます。迅速な対策を講じると共に、市民生活の実態を把握し、限られた財源で、適切かつ的確な予算措置や施策展開が求められます。

- Q1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響が市民生活にどのような影響を及ぼしているか、実態調査が必要ではないか？
- Q2. 新型コロナウイルスの感染拡大に対する市の見解や対策方針、実施している事業の意図や目的、内容が十分に市民に認識、浸透していない気がする。市（市長）として、情報発信の重要性、必要性を再度、検討し、多種多様な媒体を通し、タイムリーかつ分かりやすい情報発信、更には市民との双方向の情報共有に努めるべきではないか？

②臨時休校期間中の実態と今後の教育方針や計画について

新年度が始まり約2か月、臨時休校が続きましたが、その間の児童生徒の学びは、ほぼ各家庭に委ねられてきました。各家庭の実態把握、現状分析を急ぎ、必要に応じた適宜適切な対応が求められます。

- Q1. 臨時休校期間中の児童生徒の学びは、ほぼ各家庭に委ねられてきたが、市教育委員会として子どもたちの学力補償をどのように考えているのか？
- Q2. 教育委員会、学校現場の教職員は臨時休校期間中、子どもたちの学力補償や心身のケアに対し、どのような取組みをしてきたのか？
- Q3. 学びの継続が、家庭学習に委ねられてきたことにより、各家庭への負担、不安が大幅に増しているが、どのように認識し、実態把握や具体的にどのような対応をしているのか？
- Q4. 各学校の教職員の意識や意欲に大きな差があり、学習動画や資料等の作成や配信、気になる子どもたちへの電話連絡や家庭訪問など各学校の取組みに大きな差異が出てきているのではないかと。教職員のスキルアップと、意識格差の改善、それらが要因となって生じている学校間格差の解消に尽力すべきではないか？
- Q5. 臨時休校を余儀なくされた子どもたちに対し、教育活動再開後の教育方針や年次計画はどのように考えているのか？

③タブレット端末の活用とオンライン授業に対する考え方について

市は今年度中に市立小中学校の全児童生徒に1人1台のタブレット端末の配備することを決定しました。ただ、配備して満足しては、多額の税金が無駄になってまいります。

- Q1. 全児童生徒にタブレット端末を配備し、校内及び家庭等で具体的にどのような活用を考えているのか？
- Q2. オンライン授業（リモート授業）を試行的に実施された学校もあるが、全市的に広げていく予定はあるのか？
- Q3. タブレット端末を活用した授業や学習には、教職員のスキルの向上や、校内及び家庭内の ICT 環境の改善が不可欠と考えるが、どのように考えているのか？
- Q4. タブレット端末の配備を契機に、学校と家庭との連絡や情報共有を可能な限り、オンラインで行うべきではないか？ペーパーレス化を進めることで、教職員の業務効率の向上、負担軽減が期待できるのではないかと？

豊中市新型コロナ関連緊急対策一覧(市独自事業)



豊中市が独自で実施(予定も含む)している緊急対策をまとめてご紹介します。

①子育て世帯への生活支援特別給付金(約4億5200万円)

児童扶養手当受給世帯と一定所得水準以下の児童手当受給世帯を対象に、1世帯につき5万円を支給

②子育て応援特別給付金(約8400万円)

子育て世帯の経済的負担の軽減のため、3人以上の子を持つ世帯に対し、1世帯につき3万円を支給

③児童生徒にタブレット環境の整備(約16億1900万円:内、市負担は約8億4800万円)

小中学生に1人1台タブレット端末(インターネット通信環境がない家庭でも通信が可能な仕様)を配備
同時に、障がいのある児童生徒がタブレット学習を行うことができるよう点字ディスプレイを整備

④福祉施設等のサービス継続に対する支援金(約8400万円)

感染拡大に伴うスタッフ不足の状況でも、持続的なサービス提供を求められている施設が職員を緊急雇用した際に支援金を支給



⑤人工呼吸器の購入(約1100万円)

市立豊中病院において、重症患者への対応を強化するため、人工呼吸器を2台購入



⑥市立豊中病院の新型コロナウイルス感染症業務に係る特殊勤務手当の創設(約1億4600万円)

新型コロナウイルス感染症患者と接する等の作業に従事した職員に対する手当を措置

⑦医療・福祉等従事者宿泊費助成事業(約1800万円)

医療・福祉の最前線で新型コロナウイルス感染症の対応にあたる従事者が市内の宿泊施設等に宿泊した場合、費用の一部を助成



⑧保健所職員の時間外勤務手当(約2000万円)

新型コロナウイルス感染症への対応に伴い不足が見込まれる保健所職員の時間外勤務手当の補てん

⑨大学生等の緊急雇用(約1200万円)

新型コロナ感染症の影響でアルバイトが出来ず、学費や生活に困窮する学生をアルバイトとして緊急雇用

⑩小規模事業者応援金(約3億1730万円)

新型コロナウイルス感染防止に協力頂いたことで売上が減少した小売業などの小規模事業者に対し、市独自で、1事業者につき20万円を支給



⑪産業活動助成金(約3億円)

飲食店、理美容業など、長時間の対面や接触を伴う事業者に対し、マスク・消毒液等の衛生用品やテイクアウト容器等の購入費として、1事業者につき最大3万円を支給

⑫地域福祉活動補助金(約1100万円)

地域福祉活動の支援を目的に、各校区拠点にタブレット端末設置等の補助金を支給



⑬売上アップ応援事業(約6000万円)

新しい生活様式に対応しながら、新たな消費喚起へとつながる販路開拓に取り組む事業者グループに対し、1グループにつき最大30万円を助成

発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

